

# 平成23年度 温室効果ガス排出量の公表について

## 1. 市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量

【市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量】

**14,691 t-CO<sub>2</sub>** (平成23年度実績)

【内訳】

### ①温室効果ガスの種類別排出量

温室効果ガスの種類	単位	基準年度 (平成21年度)	平成23年度
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub> 換算	13,164,202	14,295,639
メタン(CH <sub>4</sub> )	kg-CO <sub>2</sub> 換算	57,526	38,196
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	kg-CO <sub>2</sub> 換算	353,346	354,049
フロン類(HFC)	kg-CO <sub>2</sub> 換算	3,432	3,335
温室効果ガスの合計	kg-CO <sub>2</sub> 換算	13,578,506	14,690,822

### ②部門別の温室効果ガス排出量

		平成21年度 合計(kg-CO <sub>2</sub> )	平成23年度 合計(kg-CO <sub>2</sub> )	平成23年度 排出割合(%)
1	市長部局 (環境部、上下水道部除く)	1,222,296	1,168,658	8.0
2	教育委員会部局	993,378	838,028	5.7
3	環境部	10,323,298	11,654,834	79.3
4	上下水道部	1,039,534	1,029,301	7.0
	合計排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	13,578,506	14,690,822	100
	合計排出量(t-CO <sub>2</sub> )	13,579	14,691	

## 2. 削減目標の達成度と考察

### 【 削減目標 】

温室効果ガスの排出量を平成27年度までに、

**3%削減**する。(平成21年度比)

	基準年度	実施期間				
	平成21年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
t-CO2	6,846	6,963				
平成21年度比増減量		+117				
		1.7%増加				
						目標
						6,641
						-205
						3%削減

※計画に基づき、一般廃棄物の焼却等に伴う温室効果ガス排出量  
(平成23年度:7,728t-CO2)については、対象外とします。

### 【 考察 】

平成23年度温室効果ガス排出量の割合は、市長部局(環境部、上下水道部を除く):8.0%、教育委員会部局:5.7%、環境部:79.3%、上下水道部:7.0%となっており、全体に占める大部分が環境部となっております。

市長部局(環境部、上下水道部を除く)、教育委員会部局、上下水道部について、温室効果ガス排出量を削減出来たのに対し、環境部の温室効果ガス排出量は増加したため、合計では117t-CO2(1.7%)増加した結果となりました。

環境部の温室効果ガス排出量が増加した理由は、下表のとおり、ごみの焼却に必要な灯油の使用量が増加したことが主な原因です。ごみ焼却炉の焼却温度を保持するための助燃用の燃料として灯油が使用されており、不適物の混入やごみ質の低下により灯油の使用量が増加します。

平成21年度比で205t-CO2の温室効果ガス排出量を削減目標としており、目標達成には環境部の灯油使用量の削減が必要不可欠であるため、ごみ質の改善に向けて、より一層のリサイクルの推進及び市民に対する適正な分別方法等の啓発に取り組む必要があります。

環境部	平成21年度	平成23年度	
灯油使用量(ℓ)	420,000	626,000	
灯油使用に伴う 温室効果ガス排出量(t-CO2)	1,046	1,559	温室効果ガス排出量 513t-CO2の増加